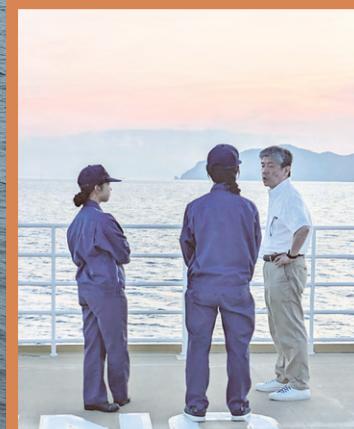


学校だより

令和7年12月発行
鳥羽商船高等専門学校 広報委員会
三重県鳥羽市池上町1番1号 TEL 0599-25-8000



- 校長挨拶
- 新任教職員紹介
- 学科等の紹介
- 就職・進学
- 150周年記念式典
- 情報機械システム工学科「高度情報工学コース」
1期生入学
- 新造練習船「鳥羽丸」就航

- インターンシップ
- 乗船実習
- 学生の活躍
- 学生会活動
- 学生寮
- 国際交流プログラム
- 教員の活躍
- 学校通信

校長挨拶

校長 古山 雄一

前回の学校だよりの校長挨拶では令和6年10月の鳥羽丸進水式までのことをお知らせしましたので、今回引き続いて、その後の本校に関連する出来事について報告します。

令和7年3月15日に新練習船「鳥羽丸」の竣工式を行いました。本校の練習船として長年活躍してきた旧鳥羽丸の後継として、新たに建造された新鳥羽丸は、海洋人材の育成と国土強靭化の国の政策に支えられ、災害支援にも対応できる船です。竣工を無事迎えた本船は、本船と学校を結ぶ船陸間通信装置を備えており、またダイバー・シティに配慮した設備、災害時支援のための設備等、いわば最新技術の粹を集めた装



備を有しています。これらの優れた機能を活かし、ご支援いただいた皆様からのご期待に応えるために努めます。令和5年に成長分野を牽引する大学・高専の機能強化を目的とした支援事業に採択され、令和7年4月に定員20名増員の「高度情報工学コース」を新設し、今年度から新入生の受け入れを開始しました。情報分野での高度かつ最新の教育を行い、新しい人財を育成していきます。令和7年9月13日、本校の創基150周年記念式典を開催しました。本校は明治の黎明期、我が国の近代教育の礎を築かれた6大教育家の一人、校祖・近藤真琴翁により、明治8年（1875年）9月、芝新錢座二番地（現・東京都港区浜松町）に「航海測量練習所」、後の商船養として創基されました。明治14年（1881年）8月20日に、当地・三重県鳥羽町に分校として「鳥羽商船塾」が創立され、その後、変遷を経て、昭和42年（1967年）6月、国立高等専門学校となり、今日に至っています。本校は日本で一番古く、長い歴史を持つた商船学校であることを覚えておいてください。150年という長い歴史を顧みるととき、幾多の時代の変遷を経

て、今日の本校がこの鳥羽の地に在ることは、決して偶然ではありません。鳥羽の皆様をはじめ、志摩半島地域の方々の深いご理解と温かいご支援の下で本校が在ることを忘れてはならないと思っています。令和7年9月19日、第54回「商船学科卒業証書授与式」並びに第18回専攻科「海事システム学専攻修了証書授与式」を挙行しました。商船学科 航海コース21名、機関コース15名の卒業生は5年6ヶ月に及ぶ高等教育課程を修了し、準学士の称号を授与されました。また、専攻科海事システム学専攻を修了した4名の修了生は、大学改革支援・学位授与機構の定める厳格な条件を満たし、学士（商船学）の学位を授与されました。卒業生、修了生の皆様の進路は、船舶職員、海事技術者、エンジニアとして、海運・海事分野のみならず、海洋資源の調査・探査等、多岐にわたる可能性を秘めています。150年という節目を迎えた本校は「海と技術の未来を拓く」教育・研究機関として、地域社会とともに歩んでいきます。今後も、教育・研究・地域貢献の三本柱を軸に、より魅力ある学校づくりを進めたいと考

※人事

令和7年4月1日から副校長と校長補佐を以下としました。

副校長（総務・教務・国際担当）

教務主事 江崎教授

副校長（学生支援・厚生補導担当）

学生主事 澤田教授

副校長（寮務担当）

寮務主事 重永教授

校長補佐（研究、産学・地域連携担当）

研究主事 出江教授

校長補佐（将来計画担当）

専攻科長 嶋岡教授

校長補佐（サイバーセキュリティ担当）

情報機械システム工学科長 白石教授

校長補佐（ダイバーシティ担当）

ダイバーシティ推進室長 豊田教授

◆◆新任教職員紹介◆◆



一般教育科
准教授
島 大吾

4月より一般教育科の准教授に着任しました、島大吾と申します。私はアメリカのアイオワシティとカナダのモントリオールで11年間「外国人」として過ごし、異文化への「違和感」と「理解」を両立させる難しさと大きさを学びました。自文化の称賛や異文化への冷笑に陥らず、自分の考えを言葉にする「伸びやかな感性」を、学生の皆さんと授業の中で育んでいきたいと願っています。



商船学科
一等航海士
山本 一真

私は鳥羽商船高等専門学校商船学科航海コースを2009年に卒業しました。卒業後は外航船に3年、震災により転職、サルベージ会社3年、平水タンカー1年半、民間調査船5年、平水船2年、勤めてきました。自分の母校に戻つてくるなど夢にも思いませんでした。協同海運から出向できているので会社の評判を落とさないよう頑張ります。趣味は実家で畑仕事をしています。他に趣味がないのかと聞かれますが十何年やって続いているので適性があると思います。無づまらないと思いませんが個人的にはいい気分転換になつてます。至らぬところがあり迷惑もかけると思いまますがどうぞよろしくお願ひします。



商船学科
一等機関士
中村 慎太郎

はじめまして。鳥羽丸一等機関士として着任しました中村慎太郎です。平成25年9月に富山高専商船学科機関コースを卒業し、警察の警備艇や富山高専練習船に乗船しておりました。学生にとつて学業はもちろん大切ですが、学生の間にしかできないこと（部活動や学祭等のイベント、寮生活、夏休みなど）も全力で楽しんではいると思つております。そして卒業した時に鳥羽商船に入学してよかつたと胸を張つて喜び合えるようサポートしますので、一緒に高校ライフをenjoyしていきましょう。よろしくお願いします。



学生課長
松浦 克行

令和7年4月1日付で岐阜高専から赴任しました松浦と申します。単身赴任のため職員宿舎に入居しています。海の近くに勤務・居住することが初めて、7月に津波警報で避難した際は、内陸の岐阜では感じることのない海の怖さを実感しました。週末は車で自宅に帰ることが多く、当初は高速を使つていますが、最近は中勢バイパスから山間の道を経由して岐阜まで行つています。これまでの経験を生かして、伝統ある鳥羽商船の発展のために微力ではござりますがお役に立てるよう尽力してまいりますので、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。



学生課教務係
係長
西田 健一郎

令和7年4月1日付で学生課教務係に赴任しました西田と申します。3月までは三重大学で勤務しており、財務部や附属病院で財務系業務、直近では学務部で入試業務を行つております。三重大学の学務部では入試業務のみ携わつておりましたが、現在の教務係では入試業務を含む教務系の各種業務を行つてゐる上、商船及び高専ならではの独自の業務が様々あり、日々経験を積ませていただいています。鳥羽商船高専の発展の一助となるべく、努めまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



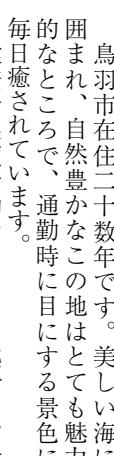
総務課企画・地域連携係長
尾廣 浩司

令和7年4月1日付で総務課に着任いたしました尾廣（おひろ）と申します。これまで三重大学で勤務しており、会計、医事、総務の業務を行つてきました。他機関での勤務は今回が初めてになります。企画・地域連携係では学校の今後の方向性や研究支援、地域貢献など幅広く業務を担当しております。これまでの経験を活かし鳥羽商船の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



10月1日付で総務課企画・地域連携係員に配属されました、江崎と申します。

総務課企画・地域連携係員
江崎 幸代



学生課教務係員
水元 うらら

7月1日付で学生課教務係職員として採用されました水元と申します。令和4年度から非常勤職員としてこの度6月まで勤務し、ご縁をいただきこの度新規で採用いただきました。配属は変わらず教務係で、窓口での学生対応から授業・出席関係等幅広い業務を担当させていただいています。4年目となつた現在でも日々学ぶことは多く、刺激のある毎日を過ごしています。

このご縁を大切に、今後様々な経験を積みながら鳥羽商船発展の一助となるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



学生課教務係員
浜口 典子

令和7年10月1日付で学生課教務係に採用されました濱口と申します。以前は、学生課図書係の非常勤職員として長い間、図書館で務めさせていただけではありませんでした。教務係での仕事は初めてです。戸惑うことも多く、皆様にはご迷惑をおかけすることばかりだと思いますが、少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思いますので、何卒、よろしくお願ひいたします。

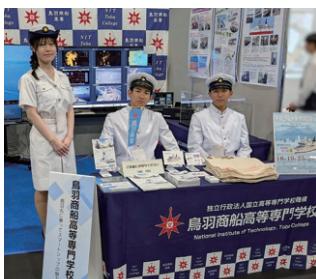
商船学科の紹介

商船学科長 鎌田 功一

商船学科は、大型船舶の航海士および機関士を養成することを大きな特長としております。本校を卒業すると、三級海技士の筆記試験が免除され、在学中の練習船による1年間の乗船実習によって、三級海技士の口述試験を受験する資格を得ることができます。海技士免状は一級から六級までありますが、三級海技士は外航船の士官として乗り組むために必要な免状であり、海技士免状の中でも上級に位置づけられます。本校に入学された皆さんには、国内でも限られた上級海技士免状を取得できる将来有望な人材であるという自覚を持ち、日々の学修および実習に励んでいただきたいと思います。

今年3月には、4代目鳥羽丸の運航が開始されました。4月からは、商船学科生の乗船実習に加え、情報機械工学科学生の実習も、昨年度に実施できなかつた学年分を含めて再開し、新しい鳥羽丸による快適な実習環境のもと、充実した実習が行われております。また、船内の一般公開についても、3月の竣工記念式典を皮切りに、近隣住民の皆さまへの一般公開、6月の大坂・関西万博でのブース出展、神戸港での一般公開など、多くの方々にご来場いただきました。さらに、小中学校との連携による体験航海や、公開講座・オープンキャンパスにおける体験航海も複数回実施し、最新の航海計器を備えた鳥羽丸による航海を幅広い世代の方々にご体験いただきました。来年度も、学校および鳥羽丸の魅力を広く発信する多様なイベントを計画しておりますので、多くの皆さまのご参加をお待ち申しあげます。

本校ではこれまでと同様に、海事関連団体および他の商船系高等専門学校と連携し、海洋人材の育成に関する各種プロジェクトを推進しております。また、10月からは毎週火曜日と木曜日の昼休み（12時30分～12時45分）に、ハワイKCCの池田先生による英語セッションを実施しております。会場は2号館2階の船舶運航支援室で、学生の皆さんが気軽に英会話に親しみ、将来に向けて国際的なコミュニケーション能力を高める良い機会となっております。多くの学生の積極的な参加を期待しております。



地域と世界へ羽ばたく技術者育成

情報機械システム工学科長 白石 和章

情報機械システム工学科は、情報工学を核としながら、電気電子技術と機械（メカトロニクス）技術を深く融合させた複合学科です。これにより、ソフトウェアとハードウェアの両方に精通し、ロボット工学やAI、システム制御など、現代社会が直面する複雑な課題に対応できる実践的な技術者の育成を目指しています。本学科の大きな特徴は、最先端技術への挑戦と、それを活用した社会実装にあります。特に、文部科学省の GEAR 5.0 プロジェクト拠点校として、AI や IoT を駆使したスマート水産・農業分野の研究開発を推進しています。これは、地域の基幹産業である水産業や農業の課題解決に、工学技術で直接貢献する取り組みです。また、持続可能な社会の実現も重要な柱であり、SDGs 達成に向けた「ブルーカーボン」関連の研究など、環境に配慮した技術開発にも挑戦しています。これらの研究テーマは、学生の実践的な教育プログラムにも深く結びついています。地域貢献型の PBL（課題解決型学習）では、学生が地元企業や自治体と連携し、実際の社会課題にチームで取り組みます。この経験を通じ、専門知識に加え、現場で必要とされる主体的な問題解決能力を養います。さらに、本学科はグローバルな視点を持つ技術者の育成にも注力しています。2024年と2025年に実施したグローバルキャンプでの協働体験に加え、MOU（大学間協定）に基づき、ベトナム COIT の研修を兼ねた「COIT VIETNAM KOSEN ROBOCON 2025」への参加など、世界で挑戦する機会を提供しています。情報機械システム工学科は、確かな技術と広い視野を持ち、地域と世界の未来に貢献できる人材を育み続けます。



学科等の紹介

一般教育科の紹介

一般教育科長 中平 希

「創造性豊かな技術者」として社会で活躍するためには、専門知識だけではなく、幅広い教養と深みのある人間性が欠かせません。そのために高等専門学校では、専門分野の学習を支える基礎学力に加え、人文・社会・自然科学、外国语、保健体育、芸術など多彩な分野を学ぶことで、5年間で高等学校から大学教養課程に相当する幅広い知識を身につけていきます。本校でこれらの授業を担当するのが「一般教育科」です。現在14名の教員が皆さんのが充実した学校生活をサポートします。

教養とは、知識を活用するための「知の体力」のようなものです。そして学ぶための原動力となるのが「知らない世界を知りたい」という好奇心です。本校では、皆さんが将来を見据えて主体的に学べるよう、5年間を通じたキャリア教育を行っています。その第一歩となるのが、1・2年生対象の「一般基礎教育」です。

この授業では、高専での勉強のしかたや図書館・学生相談室の紹介などの学校生活の基礎となるオリエンテーションと、外部講師による多彩な講演を実施しています。今年度は、鳥羽市防災危機管理室による「鳥羽商船高等専門学校で想定される災害について」、三重県津税務署による「税金について考え方」、三重県弁護士会による「憲法と人権」、思春期保健相談士による「人生のおまもりになる性の話」、百五銀行講師による「将来のための金融リテラシー講座」、三重県選挙管理委員会による「模擬選挙と主権者教育」、鳥羽市子育て支援室による「データDV防止啓発講座」など幅広いテーマを予定しています。身の回りの防災や人間関係、税金や法律、お金、将来設計など、日常の中にあるさまざまな課題を通じて、皆さんが将来に向けて関心の幅を広げ、社会に目を向けるきっかけとなることを期待しています。



専攻科の紹介

専攻科長 嶋岡 芳弘

専攻科は、高専を卒業した学生を対象に、より高度な専門的知識と技術を身につけるために設けられた2年間の教育課程です。本校専攻科は、商船学を学ぶ「海事システム学専攻」と、工業分野を学ぶ「生産システム工学専攻」の2専攻から構成されています。各専攻を修了し、大学評価・学位授与機構による審査に合格することで、それぞれ学士（商船学）、または学士（工学）の学位を取得することができます。

専攻科における研究活動の成果は、学内発表だけでなく、学外の学会やコンテストなどでも発表されています。今後もそのような機会を積極的に活用し、学外での発表の場をさらに広げてもらいたいと思います。特に、学外の専門家や関係者の方々からいただく意見や助言は、学内では得がたい新たな視点や気づきをもたらし、研究内容の深化や今後の方向性を検討するうえで大いに役立ちます。これらの経験から得た知見が、将来さらなる成長へとつながることを期待しています。

専攻科に進学すると、志望する業界への就職にとどまらず、大学院への進学など、さらに高度な学びへとつながる道も開かれています。より専門的な学びや研究を通して、自分の興味や目標をより明確にできる点も大きな魅力です。



商船学科 航海コースの就職・進学状況について

商船学科副学科長 航海コース主任

山田 智貴

令和7年9月の商船学科航海コースの卒業生は21名です。このうち就職が17名、進学が4名となりました。就職は17名全員が海上就職を希望し、その内訳は旭タンカーに3名、佐渡汽船、国華産業、琵琶湖汽船、旭陽海運、東海汽船、日本海洋事業、福寿汽船、共栄マリン、日本海洋掘削、共栄タンカー、商船三井、NX海運、新日本海フェリーに各1名の採用となりました。進学は本校専攻科に2名、東京海洋大学海洋工学部に2名となっています。

航海コースでは海上職を希望する傾向が数年に亘つて続いておりますが、船上での業務は様々な船種により多岐に亘ります。特に近年は旅客船、調査船等への乗船を希望する学生も多く、勤務形態や要求される専門性も多様化しています。従前の専門科目の習得や、語学、海技試験の対策だけで無く、自身に必要となる知識や技術を見極めて学習や習得を勧めることが重要ですが、そのためには自身の将来をしつかりと見据える必要があります。良い機会としてインターネット・シップ（主に4年次夏期）や卒業生等による会社説明会、会社見学などがありますので、是非積極的に活用してください。

商船学科 機関コースの進路状況について

商船学科副学科長 機関コース主任

渡辺 幸夫

商船学科機関コース5年生の今年度の進路は21名中10名が海上職、6名が陸上職、4名が進学（商船系大学、および本校専攻科）、1名が卒業後に進路決定する、となっています。海上職、特に外航海運会社の動きは、ここ数年大変スタートが早いです（インターナンシップも人物評価の一部となっている印象もあります）。商船学科の学生は4年時の大型練習船実習の下船が2月10日以降となる為、実際の就職活動開始がこれよりも早まる事はありません。ここを目指して落ち着いて準備して欲しいと思います。また今年は、陸上企業への就職が多いような印象を受けるかもしれませんが、海上職も殆どが船員としての知識を生かした職務内容となります。教員は学生の皆さんに対しても可能な限り進路決定の為の助言を行いますが、最も大切なことは、学生自身が自分自身のことを良く知り、希望をしつかりと定めることです。学生諸君には悔いのないように進学・就職活動に取組んでもらえたらと考えています。いつでも相談してください。

情報機械システム工学科の未来を拓く進路

情報機械システム工学科長

白石 和章

情報機械システム工学科の学生たちは、充実したカリキュラムと実践的な学びを経て、輝かしい未来へと羽ばたいています。特に就職においては、その実績は非常に優秀であり、多くの学生が日本を代表する大企業や、地元三重県の優良企業から高い評価を得て内定を獲得しています。近年は、NTTグループやソフトバンクといった大手情報通信系企業への就職が増加しているほか、アクセンチュアのような世界的な大手セキュリティコンサルティングファームへ進む学生もあり、本コースの専門性の高さがうかがえます。また、進学の道も幅広く開かれています。本校の専攻科や技術科学大学は、学びをさらに深める場として進学しやすく、非常に人気があります。加えて、他の国立大学の工学部などへ進学する学生も年々増えており、多様な選択肢が用意されています。早期から行われるインターネット・シップも、学生が自身のキャリアを考え、実践力を養う貴重な機会となつており、こうした高い就職率と進学実績を力強く支えています。

学科等の紹介

生産システム工学専攻コースの就職・進学状況について報告します。今年度、生産システム工学専攻2年生は8名在籍しており、7名が就職希望、1名が進学希望となっています。現在、就職希望者のうち5名が情報・通信分野、1名が電気分野の企業に内定しています。その多くが大手企業であり、専攻科生への求人需要は依然として高い状態です。進学1名は九州工業大学大学院に合格しております。

一方、生産システム工学専攻1年生は9名が在籍者しており、7名の学生が夏休みにインターンシップに参加しました。インターンシップにつきましても求人同様に企業から多くの募集が寄せられており、学生は各自の進路に合わせて実習先を選定します。また、複数企業でインターンシップを行う学生も多くなってきており、本校では2社以上で実施し、評定書と報告書の提出、発表を行ふことで「特別実習」としての単位が取得できます。今年度は、3名が申請予定となつております。

生産システム工学専攻コースの就職・進学 及びインターシップ状況

本校専攻科の海事システム専攻では、9月に4名の学生が修了し、全員が「学士（商船学）」の学位を取得しました。修了者は大学卒業生と同等の学歴として認められます。

今年の専攻科の就職状況は本科同様に高い求人倍率を維持しており、海事システム専攻においても、内航船舶社（2名）、客船（2名）の計4名全員が希望する海上職で就職しました。また、海事システム専攻の学生はすでに本科にて1年間の大型練習船実習を経験した3級以上の海技士免許を取得しておらず、乗船業務や船舶関連企業への関心が高い傾向にあります。

海事システム専攻では、就職活動のスケジュールが他の大学等と異なることから、これまで企業のインターネット上シップに参加する事例はほとんどありませんでした。しかし、インターネット上シップは視野を広げるとともに、実践的な学びを得ることができる貴重な機会です。今後も引き続き、学生に対して積極的な参加を促していきたいと考えています。

海事システム学専攻コースの進路及びインターンシップ状況について

海事システム学専攻主任 嶋岡 芳弘

令和7年3月及び令和7年9月卒業生進路先一覧（順不同） 令和7年10月21日現在

商船学科

- 就職先 佐渡汽船(株)、国華産業(株)、旭タンカー(株)、琵琶湖汽船(株)、旭洋海運(株)、東海汽船(株)、日本海洋掘削(株)、日本海洋事業(株)、福寿船舶(株)、共栄マリン(株)、共栄タンカー(株)、(株)商船三井、NX 海運(株)、新日本海フェリー(株)、ケイラインロー ローバルクシップマネージメント(株)、川崎汽船(株)、第一中央内航(株)、日本郵船(株)、イノガストランスポーツ(株)、日本ガスライン(株)、日本通運(株)、大阪旭海運(株)
 - 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、東京海洋大学、長岡技术科学大学

●進子元 烏羽尚加尚寺等 洋大学、長岡技術科学大学

情報機械システム工学科

- 就職先 NTTコムエンジニアリング(株)、村田機械(株)、(株)UL Japan、旭化成(株)、(株)Blueship、美和ロック(株)、(株)ハイマックス、リニューアブル・ジャパン(株)、パナソニックインダストリー(株)、(株)AXSEED、(株)アイ・エス・ピー、CTCテクノロジー(株)、(株)デンソー、西日本電信電話(株)、三菱電機ビルソリューションズ(株)、デンソーテクノ(株)、ソフトバンク(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、関西電力(株)、(株)クラックスシステム、ダイキンエアテクノ(株)、ニプロファーマ(株)、ムラテックCCS(株)、(株)京都製作所、東レ(株)、オムロンフィールドエンジニアリング(株)、近畿日本鉄道(株)、ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(株)、(株)村田製作所、(株)ファインディックス、三菱電機(株) 産業メカトロニクス製作所、サントリー(株)、パナソニック(株)エレクトリックワークス社 津工場、(株)ジェイ・クリエイション、(株)U-NEXT HOLDINGS、ソーバル(株)、三菱重工業(株)、NECフィールディング(株)、メタウォーター(株)、フジテック(株)、京セラ(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)JERA
 - 進学先 自羽商船高等専門学校専攻科、農林技術科学大学

令和7年3月及び令和7年9月修了生進路先一覧（順不同） 令和7年10月21日現在

海事システム学専攻

- 就職先 日勢海運(有)、(株)商船三井さんふらわあ、旭タンカー(株)

生産システム工学専攻

- 就職先 (株)FIXER、(株)アイ・エス・ピー、(株)トヨタシステムズ、NTTコムエンジニアリング
(株)、(株)ZTV、日東電工(株) 亀山事業所、ソフトバンク(株)、富士通Japan(株)

インターンシップ先 企業一覧（順不同） 令和7年11月5日現在

商船学科

- 旭タンカ(株)、旭運輸(株)、川崎汽船(株)、佐世保重工業(株)、佐渡汽船(株)、(株)商船三井、(株)商船三井さんふらわあ、津軽海峡フェリー(株)、ナブテスコ(株)、日本郵船(株)、琵琶湖汽船(株)、日本小型船舶検査機構

情報機械システム工学科

- 三菱地所プロパティマネジメント(株)、村田機械(株)、旭化成(株)、(株)デンソー、(株)レアゾン、ホールディングス、NTTコムエンジニアリング(株)、Daigasグループ、神鋼テクノ(株)、アステック(株)、東京ガスネットワーク(株)、(株)佐藤農園、ムラテックCCS(株)、ソフトバンク(株)、CTCテクノロジー(株)、ダイキン工業(株)、中部電力(株)、キヤノンシステムアンドサポート(株)、(株)U-NEXT HOLDINGS、サントリーグループ、アライドテレシスホールディングス(株)、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)、花王(株)、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー、(株)レゾナック、山崎製パン(株)、TOA(株)、キクカワエンタープライズ(株)、(株)サイバーウェイブジャパン、東京電力ホールディングス(株)、(株)西島製作所、三菱電機ビルソリューションズ(株)、日本オーチス・エレベーター(株)、(株)LIXIL、横河ソリューションサービス(株)、(株)イシダ、旭電器工業(株)志摩工場、(株)トヨタプロダクションエンジニアリング、キオクシア(株)、西日本電信電話(株)、(株)マイスターエンジニアリング、シンフォニアテクノロジー(株)、(株)UL Japan、美和ロック(株)、ニプロファーマ(株)、パナソニック インダストリー(株)、日本放送協会 名古屋放送局、(株)百五銀行、関西電力グループ、NECフィールディング(株)、京セラ(株)、(株)あたらす二十一、ジャパンマリンユナイテッド(株)、シンフォニアエンジニアリング(株)、(株)JERA、中外製薬工業(株)、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、富士通グループ、日本たばこ産業(株)、フロント産業(株)、(株)エイ・アイ・エス、旭化成エンジニアリング(株)、(株)東京エネシス、(株)クボタ 枚方製造所、(株)スターシステム、東海コンクリート工業(株)、日本システム開発(株)、豊橋技術科学大学

150周年記念式典

本校は今年、創基150周年という節目の年を迎える。去る9月13日、記念式典を挙行いたしました。当日は、在校生・同窓生・元教員に加え、本校の基となった攻玉社関係の皆様や卒業生など180名の方々にご参加いただき、盛大に執り行うことができました。

式典は、開会の辞に始まり、国歌斉唱、校長式辞、来賓祝辞と続き、学生代表による挨拶や祝電披露、理事による謝辞、校歌斉唱、閉式の辞をもって締めくくられました。多くの方々から温かいお言葉を頂戴し、本校の歩みとその意義を改めて深く認識する機会となりました。

式典後に行われたアトランタ・シドニー・アテネ五輪メダリストであり、スポーツ・教育コメントーターとして活躍されている武田美保氏による記念講演は大変盛況で、予定時間を延長してしまうほどの熱気に包まれ、参加者一同が深い感銘を受けました。

150年という長い年月の中で、本校は技術と人間性を育む教育を大切にしながら、地域とともに歩んでまいりました。この節目を機に、私たちは改めて「学びの意味」と「未来への責任」を考える機会を得ました。

今後も在校生の皆さんには、先人たちの築いた伝統を受け継ぎながら、新たな時代を切り拓く力を養ってほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



武田美保氏による創基150周年記念講演会の様子

情報機械システム工学科「高度情報工学コース」 1期生入学

未来を創造する学び舎、高度情報工学コースの挑戦

現代社会は、AI（人工知能）の急速な進化、あらゆるモノがインターネットに繋がる IoT の普及、そしてそれに伴うサイバーセキュリティの重要性の高まりなど、情報技術の革新によって日々大きく変貌しています。このような時代の要請に応え、未来のデジタル社会を牽引する高度 IT 人材を育成するため、鳥羽商船高等専門学校では「高度情報工学コース」を新設いたしました。このコースは、単なる技術の習得に留まらず、新たな価値を創造できる技術者を育む、魅力に満ちた学びの場です。

本コースの最大の特長は、情報工学分野に徹底的に特化した最新鋭のカリキュラムにあります。従来の枠組みを超えて、学生たちは早期から最先端の技術領域に触れることができます。特に、現代社会の基幹技術となりつつある AI、ディープラーニング、そして社会インフラの安全を守るために不可欠なサイバーセキュリティ技術については、基礎から応用まで深く掘り下げて学びます。また、膨大なデータを処理・活用するためのクラウド技術やデータサイエンスについても体系的に学習し、複雑化する社会課題に対応できる高度な専門知識と技術力を養います。

さらに、本コースの学びは教室の中だけに留まりません。私たちは「社会と直結した実践的な教育」を重視しており、その象徴が最先端企業との密接な連携です。世界的なコンサルティングファームであるアクセンチュア株式会社や、国内有数のクラウド・データセンター事業者であるさくらインターネット株式会社をはじめ、業界の第一線で活躍する企業による特別授業を、一年生という早い段階から実施しています。学生たちは、現場のプロフェッショナルから最新の技術動向や実務的なノウハウを直接学ぶことで、生きた知識を吸収し、将来のキャリアイメージを具体的に描くことができます。

また、本コースが育成を目指すのは、国内に留まらずグローバルに活躍できる人材です。そのため、グローバル教育にも力を入れており、学生が国際的な視野を広げるための短期留学プログラムなどへ、優先的に補助を行う制度を整えています。多様な文化や価値観に触れ、国際的なコミュニケーション能力を磨くことは、これから的情報技術者にとって不可欠な素養です。

加えて、地域社会との連携も本コースの重要な柱です。鳥羽・伊勢志摩という地域特性を活かし、「スマート農業」や「スマート水産」といった、情報技術を活用して地域の基幹産業の課題解決に取り組む、地域密着型の PBL（課題解決型学習）を推進しています。学生たちは、学んだ最新技術を現実の課題に応用するプロセスを通じて、実践力とともに、地域社会に貢献する意識を育みます。

このような革新的な学びをさらに加速させるため、ハードウェア環境の整備も進んでいます。来年度には、高度情報工学コース専用の新築校舎の着工が予定されており、学生たちは最新鋭の設備が整った理想的な環境で、思う存分研究や開発に打ち込むことができるようになります。

高度情報工学コースは、無限の可能性を秘めた情報技術の世界で、自ら未来を切り拓き、社会に貢献したいという強い意志を持つ学生たちを全力でサポートします。この鳥羽の地から、世界を変えるイノベーションが生まれることを期待してやみません。



授業風景



入学時

新造練習船「鳥羽丸」の就航

商船学科 航海コース 鳥羽丸船長 齊心 俊憲

1. はじめに

鳥羽商船高等専門学校の校内練習船「鳥羽丸（4代目）」（以下「鳥羽丸」）は、三菱重工マリタイムシステムズ株式会社の玉野本社工場で建造されました。完成検査を受けたのち本校練習船棧橋へ廻航され、2025年3月14日に引き渡されました。

その後、習熟訓練航海を行い2025年4月8日の商船学科航海コース3年生練習船実習から就航いたしました。



図1【鳥羽丸：全長 56.3 m・幅 10.6 m・喫水 3.4 m・総トン数 397 トン・航海速力 12.5 ノット】

2. 練習船鳥羽丸の特徴

商船系高等専門学校各校の練習船はシリーズ化（船体構造及び全長・幅・深さが同じ）され、大島商船高等専門学校の「大島丸（4代目）」・弓削商船高等専門学校の「弓削丸（4代目）」に続く、3番船として建造されました。

「鳥羽丸」は、次の3つの技術コンセプトで建造されています。

- ① SMART-Ship ~最先端の賢い船でスマートな教育を~
練習船初となる自律運航システム（仮想岸壁への自動離着岸・自動停船・遠隔操船及び遠隔操作）及び船陸間通信システムなど。
- ② TRUST-Ship ~海事教育に頼れる船で信頼関係の構築を~
垂直船首形状の採用及びアンチローリングタンクの搭載による船体動搖の減少など。
- ③ FRIEND-Ship ~親しみやすい船で海と人の友好な関係を~
災害支援による社会・地域への貢献を行える配置・設備を構築。
海事思想普及のための、魅力ある船の建造。

基本的には、「鳥羽丸（3代目）」における30年間の船員教育及び運航実績をもとに造船所の持つ最新技術を導入することで、次世代の船員教育にふさわしい練習船を目指しました。

「鳥羽丸」の主な実習海域は、伊勢湾・太平洋沿岸であり、「鳥羽丸の個性化」として、垂直船首形状の採用（船体抵抗及び船体動搖（縦揺れの低減））や減揺タンク（横揺れの低減）などを装備することで最適化を図っています。

船橋は実習海域を考慮し、「鳥羽丸（2代目）（3代目）」と同様に全閉式の船橋（荒天時の安全性向上）を採用し、大型の情報統合型コンソールを採用しました。

機関室は、広く明るい機関制御室を中心に配置し、二つの工作室を設けることで、より実践的な実習が可能となっています。

教育・研究設備として、自動船位保持制御装置DPS及び練習船初となる「自律運航システム」を搭載し、安全な海域に設定した仮想岸壁への「自動離着岸機能」、周囲の状況を確認し安全に停船する「自動停船機能」及び校舎地区からの「遠隔操船及び遠隔操作（各清水タンク間の移送）」機能を有しています。

災害支援では、国土強靭化基本計画に則った支援機能を有した練習船とするため、三重県・鳥羽市・伊勢市・志摩市などの防災担当者と協議を行い、近隣地域より求められる支援機能を有しています。



図2【減揺タンク】



図3【遠隔操船システム（校舎地区）】

3. あとがき

本校にとって31年ぶりに新造された練習船「鳥羽丸」の持つ最新設備や機能を最大限に活用し、船員養成・調査研究・海事広報活動・災害時支援などに貢献していく所存です。

最後に、鳥羽丸建造にご尽力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

インターンシップ

インターンシップのすゝめ

商船学科機関コース5年

岡本 真紘



私は夏休みにジャパンマリンユナイテッドのインターンシップに参加しました。もともとは船員を目指していましたが、商船学科からの船乗り以外への道があることを入学後に知りました。日本経済を支える海運業界を支える造船業に興味を持ち、造船所のインターンシップに参加しました。またインターン中で造船所の研究所に興味を持ち、研究職に就くため卒業後、進学して知識をつけたいと考えるようになりました。インターンへの参加は就職活動への一助になります。

社風や、企業が大事にしていることを知り、新たな進路を見つけるきっかけになります。私はインターンに参加してこれから進路が明確になりました。

迷ったらいんターンに参加することをお勧めします。

インターンシップで学んだことについて

情報機械システム工学科4年

國米一心

アクセンチュア様とソフトバンク様のインターンに参加し、それぞれの企業の特色を感じていく中で、両社に共通する「フラットで対話的な文化」を体感しました。

した。

職種や年次を越えて意見が交わせ、仮説検証を高速に回す姿勢が印象的でした。

個社では、前者で課題定義から要件分解・資料化までの筋道、後者で利用者視点でのUI/UX改善とデザインを学びました。

これからキャリアプランを考えていいく上で、インターンシップに参加しないというのは、選択肢を狭めているという感じです。実際の現場をみると、得られない知識や経験があると思うので、下級生の皆さんにはインターンシップに行くことを強くお勧めたいです。

乗船実習

『日本丸』の乗船実習 ～いすゞ船橋 実習生～』

商船学科航海コース5年 森田 真永

私たち商船高専・航海コース55期生は、令和6年9月から令和7年2月までの5ヶ月間の実習をJMETTSの練習帆船「日本丸」で過ごしました。

本実習は、横浜港の大さん橋から始まり、神戸港、徳山下松港、名古屋港（一般公開）、細島港、東京港、神戸港、シンガポール港、東京港にて下船しました。

特にシアー（船の側面から見た甲板の反り上がり）が汽船に比べて大きく、船首部にあるトイレを使う際には「苦労しました」とありました。が、人間の適応力とは凄いもので、2週間もすれば大体のことには慣れることができました。

帆船特有の作業として、ヤード回しがあります。

ヤードとはマストについた横棒のことで、帆を垂らすために用いられるものです。すべての航海を機走で行った本船でも、ヤードを右前（Starboard tack）にするか、左前（Port tack）にするかで風を推進力とも抵抗ともすることができました。こういった学びを得られるのが帆船実習の良いところだと思います。

操縦性能測定もしました。

このでは、速力や旋回性能、停止惰力や反転惰力を各班で手分けして測定し、結果を発表しました。

私の所属していた班では、大島商船の某つり太郎くんがジャンケンで勝利し、見事「反転惰力（俗に言う Clash A stern）」をゲットし、津波で測定しました。

Full Ahead (速9KT) から一気に Full A stern を発令します。

日本丸は2機2軸のF.P.P.で、後進には一度クラッチを抜いてから後進用のギアを嵌合するのですが、片方だけうまく後進に入らないトラブルがありました。

それでも無事に測定は終了し、計算で求めた理論値と実際の結果を比較して発表することができました。

遠洋航海では、これまでの実習の中でも最も長い片道12日の航海を経験しました。

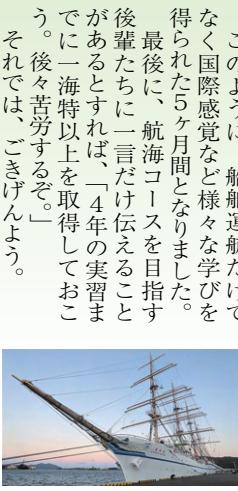
海水風呂に入ったり、沖縄で1月上旬にもかかわらず冷房運転を開始したり、同じ班の友人に散髪を頼んだら斬新な髪形になつたり、時刻改正でいつもより長めに休憩できたり。個人的に一番楽しかったのは機帆走です。これは乗組員方の技量維持のために行われるもので、南シナ海のど真ん中でメインマストアッパートップとロワートップの帆を広げて機走の支えとしました。

たつた2枚だけでも、横帆を広げる船の姿をみられたのはよい思い出です。

シンガポールでは、現地のパイロットやタグボート業務を行う会社を見学しました。もちろん説明は全て英語で、知つてある単語をつなげて理解しようと頑張りました。上陸はすべて白制服です。行くところどころで「Are you navy?」と聞かれました。その度に私は「No, I am a merchant ship's cadet.」といふよかったです。が、私の発音が悪いのかmerchantの語が中々伝わらず、最後の方は「Yes, I am a Navy!」と答えるようになりました。

このように、船舶運航だけではなく国際感覚など様々な学びを得られました。

最後に、航海コースを目指す後輩たちに一言だけ伝えることがあります。4年の実習までに「海特以上を取得しておこう。日々苦労するぞ。」それでは、「じきげんよう。



細島港



機帆走中の日本丸



シンガポール仮泊

学生の活躍

全国高専体育大会 バドミントン競技に出場

情報機械システム工学科 高度情報工学コース1年



私は東海地区高専体育大会ハドミントン競技の女子シングルスで優勝し、9月6日から熊本県八代市で行われた全国大会に出場しました。大会に向けては、ショットの精度を高めることや多彩なテクニックを身につけることを意識し、どんな相手にも対応できるよう練習を重ねてきました。試合は残念ながら初戦敗退という結果でしたが、緊張の中でも、自分のプレーを信じて最後まで粘り強く戦うことができました。全国の舞台で試合ができたことは大きな経験となりました。全国のレベルを肌で感じ、自分に足りない部分も明確になつたので、これから練習でさらに成長していきたいと思います。応援してくださった先生方や仲間への感謝を忘れず、次の舞台でも挑戦を続けます。

海瀨
叶歩

全国高等専門学校体育大会 剣道競技に出場して

情報機械システム工学科5年

小島
優志



私が全国高専大会に出場することはが出来たのは、全て三重高剣道部と鳥羽武道館の方々のおかげです。当時、練習する環境が無く困っていた私を拾つていただき、現在もお世話になつている監督や選手の皆さんには感謝してもしきれません。今年の大会では、選手側の言葉を聞いて下さる頼りになる監督と剣道外での面倒ごとを持ち込まず、チームの指揮を上げつつ周りを見られる優秀な主将のおかげで予選で実力を出すことが出来ました。全国大会では自らの課題を再認識する結果となりました。お世話になつた方々に報いることが出来ず、今でも悔しく思っています。

私は、令和7年度全国高等学校総合対区大会少林寺拳法競技大会に出場しました。組演武を組んだ友達とは、何度も言い合いになつたり、意見もぶつかり合つたりしましたが、互いに切磋琢磨しあつて、いい演武にするために練習を積み重ねました。大会本番では、自分たちの実力が及ばず、予選敗退となり、自分たちの実力の甘さを痛感しましたが、全国トップレベルの技や技術、気合など、多くのことを学べて吸収でき、自分にとつてとてもいい価値となりました。私は、この大会で得た学びや経験を、次に活かせるよう、そして後輩たちに伝えていけるよう、今後も一生懸命に努力していきたいと思います。

この大会に出るために、指導してくれた両親にとても感謝しています。本当にありがとうございまし



最後はチームリーダーとして未熟な私についてきてくれたチームメンバーとロボコンの活動に協力してくれた方々に最大限の感謝を申し上げます。

結果として、凱旋門から着想を得た
装飾や確実な試合運びが評価され、田
中貴金属様より特別賞を頂くことが出
来ました。全国大会出場を目標に製作
に取り組んできたため、夢叶わざで悔
しい思いもありますが、今年度の製作
にて培つた技術やチームワークを後輩
たちに引き継いでもらい、より良い口
ボットが作られることを期待したいで
す。

私たちAチームのロボットはこの課題に「T」というアイデアで挑みました。Tとは、ロボットが横長のボックスを別のボックスを介して持つというアイデアで、その見た目からTと名付けました。

今年でロボコンに携わって4年目となります。今年はAチームのチームリーダーを務めさせていただきました。今年のテーマは「Great High Gate」。ロボットがフィールドにあるボックスでゲートを組み立て、人を乗せた台車と連結して組み立てたゲートをくぐります。

ロボコンに関わって

情報機械システム工学科4年

山本
翔喜



令和7年度
全国高校総体に参加して

商船学科2年

三坪蓮

ロボコンに関わって

第36回高専プロコノで 文部科学大臣賞・最優秀賞を受賞

情報機械システム工学科2年

阪本 拓海



10月に開催された高専プロコンにおいて、課題部門では「しらせーるー持続可能で環境配慮型のシラス漁支援システムー」が文部科学大臣賞・最優秀賞（本校は二年連続）、NICT賞を受賞しました。これを受け、NAPROCK国際大会と企業家甲子園の出場権も獲得しました。また、自由部門でも「BIRDLOCKー養殖魚用食害対策システムー」が特別賞を受賞しました。

私は課題部門のメンバーとして初めて参加しました。開発では、特に発展の著しいAI技術の習得に難しさを感じましたが、先輩方のアドバイスや自力での調査を経て、システムを完成させることができました。チーム内で綿密な打ち合わせを重ね、全員で協力で向き合ったことが、この素晴らしい結果に繋がったのだと実感しています。「ICTで環境や生活をよくする」という目的を胸に、今後も継続して開発に取り組み、来年のコンテストにも挑戦します。

今年度は、社会課題の改善に取り組み、社会貢献度を上げています。

「DCON 2025」で 経済産業大臣賞と企業賞受賞

情報機械システム工学科5年

北仲 一登



私たち、第6回全国高専ディープラーニングコンテストにおいて、「めたましーど～海苔養殖を食害から守るー」を発表しました。経済産業大臣賞と企業賞を受賞し、企業評価額1.5億円と第2位という評価をいただきました。

近年、海苔養殖ではカモによる食害が深刻化し、生産量に多大な影響を与えているにも拘わらず、有効な対策は確立されていません。そこで私たちはAIとレーザーを融合させた自動追い払い機で食害行動を抑制し、海苔の収量倍増と収入増を目指すシステムを提案しました。

私はリーダーとして6人のメンバーと共に、約半年間、実態調査・開発・現場検証に邁進しました。メンターの方々は、AIとレーザーを融合させた自動追い払い機で食害行動を抑制し、海苔の収量倍増と収入増を目指すシステムを提案しました。

コンテスト実績一覧

◆令和6年度◆

高専ワイヤレステックコンテスト (WiCON2024) (令和7年3月6日本選大会)

結果	備考
三菱電機賞	チーム名: ezaki-lab.ship タイトル: 潮流予測と気象予測を活用した小型船舶の出航・帰港判断
WiCONチャレンジ賞	チーム名: siraisi-lab タイトル: LPWA通信を用いたみかん栽培の省力化とDX化推進の提案
日立システムズ賞	チーム名: プラントDX研究会 (鳥羽商船・鈴鹿高専合同チーム) タイトル: 画像解析AIとIoTシステムを用いたバイオディーゼル燃料製造プラントDX

◆令和7年度◆

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025東海北陸地区大会 (令和7年10月5日開催)

結果	備考
特別賞 (株田中貴金属グループ)	Aチーム (凱-GAI)

第36回全国高専プログラミングコンテスト (令和7年10月11日~ 12日開催)

結果	備考
(課題部門) 文部科学大臣賞最優秀賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	(作品タイトル) しらせーるー持続可能で環境配慮型のシラス漁支援システムー
(自由部門) 特別賞	(作品タイトル) BIRDLOCKー養殖魚用食害対策システムー

高専ワイヤレステックコンテスト (WiCON2025) ※2026年3月に本選大会

採択結果	備考
ワイヤレス利活用部門 2件採択	チーム名: ezaki-lab.moba チーム名: Shiraishi-lab

第6回高等専門学校ディープラーニングコンテスト2025 (DCON2025)

結果	備考
経済産業大臣賞、企業賞 (アクセスネット賞・三菱電機エンジニアリング賞・ビズリーチ賞)	(チーム名) ezaki-lab (作品名) めたましーど～ノリ養殖を食害から守る～

KOSENセキュリティコンテスト2025

結果	備考
5位	(チーム名) helltoba.com

第5回神戸大学 中高生データサイエンスコンテスト

結果	備考
優秀賞	(チーム名) インフィニティ田中

各種大会実績一覧

第63回東海地区国立高等専門学校体育大会(高専体育大会)

競技	種目	結果	備考
卓球	個人の部 (男子シングルス)	3位	
	個人の部 (男子ダブルス)	3位	
バドミントン	女子個人戦 (単)	優勝	全国高専大会出場
	男子個人戦 (複)	3位	
剣道	男子団体戦	3位	
	男子団体勝ち抜きの部	準優勝	
バレーボール	男子団体の部	準優勝	
	男子個人の部	準優勝	全国高専大会出場
バレーボール	女子	準優勝	

第60回全国商船高専漕艇大会

競技	種目	結果	備考
カッター	B艇	準優勝	

第60回全国高等専門学校体育大会

競技	種目	結果	備考
バドミントン	女子個人戦 (単)	1回戦敗退	
剣道	男子個人の部	1回戦敗退	

高専体育大会以外の大会 (高体連等)

競技・大会名	成績等	学 生
令和7年度 全国高等学校総合体育大会 第52回全国高等学校少林寺拳法競技大会	男子組演武 出場	
令和7年度 第75回三重県高等学校総合体育大会卓球競技	男子学校対抗の部 5位入賞	

学生会活動

学生会活動について

情報機械システム工学科5年 山本 凌久

私たち学生会は、リーダーズトレーニングをはじめ、体育祭や海学祭の運営など、学内外における幅広い活動を展開しています。また、部活動や同好会の管理も担つており、活動に欠かせない部費の配分や、情報共有の場としての部会の開催など、円滑な運営に努めております。

本年6月18日（水）に開催された体育祭は、晴天に恵まれ、例年以上に気温の高い一日となりました。参加学生は、熱中症や脱水症状に十分注意しながら、各競技に全力で取り組んでいました。全種目を無事に終えることができましたが、今後もこの時期の高温が予想されることから、次回以降の開催時期について再検討を進めています。

現在、私たちは12月6日（土）および7日（日）に一般公開形式で開催を予定している「海学祭」に向け、準備を進めています。記念すべき第60回を迎える今年度は、「Sailing（セーリング）」をテーマに掲げました。このテーマには、これまで受け継がれてきた伝統を大切にしつつ、新たな風を受けて未来へと航海を続けていくという思いを込めております。

当時は、一般の方にもご参加いただけるビンゴ大会や打ち上げ花火、バンド・ダンスグルーピによるステージ発表、さらに飲食やゲームを楽しめる模擬店など、多彩な企画をご用意しております。昨年度に引き続き、2日間にわたる一般公開形式での開催となります。学生のみならず、地域の皆様にもご満足いただける内容となつておりますので、ぜひご来場賜りますようお願い申し上げます。

月6日執筆 11



学生寮

学生寮について

商船学科機関コース5年 女子寮長 竹内 梓恵

暁寮は現在男子寮144名、女子寮34名の計178名（商船学科4年生が大型練習船実習で男子32名、女子9名が一時退寮中）で生活しており、寮生同士支え合いながら、充実した学校生活を送っています。

今年度は寮行事に力を入れており、球技大会やバーベキュー大会、花火大会などが開催されました。これらの行事を通じて学年をこえた交流が生まれました。また、日課にそつた規則正しい生活を送るため、学業や部活動に集中できる環境となっています。

暁寮の運営は寮生会役員と寮務主任室の教員、寮事務室の職員を中心に行われており、寮生の意見を反映させながら快適な生活環境を作るため、定期的に話し合いを行なっています。

共同生活を通じて自立心や協調性を育める場となっています。



寮行事予定

4	入寮式	8	寮生帰省、閉寮、閉寮点検
	新入寮生オリエンテーション	9	寮生帰寮、開寮式
	寮生集会（寮役員等選出）	10	寮生集会（寮役員等選出）
	寮生防災訓練（火災）	11	寮生防災訓練（夜間・地震）
	新入寮生個人面談	12	後期寮生会役員承認式・任命式・寮生会役員校長面談
5	前期寮生会役員承認式・任命式・寮生会役員校長面談	1	寮生クリスマス会
6	新入寮生部屋替え	2	大掃除、閉寮前点検、閉寮式
7	寮生球技大会	3	寮生帰省、閉寮、閉寮点検
	寮生バーベキュー大会	4	寮生帰寮、開寮式
	七夕行事	5	卒業を祝う会
	寮生花火大会	6	寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式
	寮生大掃除、S4退寮、閉寮前点検	7	1～4年生寮生帰省、閉寮（10:00）、5年生寮生退寮
	閉寮式		

国際交流プログラム

情報機械システム工学科 準教授

酒井 智香子

③シンガポール研修に参加して

情報機械システム工学科3年 矢野 来実

私は2年生の春休みに3月10日から14日までシンガポール研修に参加しました。この研修の目的は英語を使って自由に過（）す体験をすることです。

研修中はシンガポールポリテクニッカ（SP）や現地日系企業の「GGG（Greenway Grid Global）」と「ヤマザキマザック株式会社」に訪問し、様々なお話を聞きました。私は今回が初めての海外でしたが、とてもいい経験になったと思います。

この研修を通して、英語で会話するのに大切なことは、正しい文法で会話することではなく、簡単な文でも伝えたいくどを伝えることだと感じました。この経験を活かして、自分の思いを伝えるために単語や表現を覚え、使えるようにしていきたいと思います。また、このような機会があれば積極的に参加していきたいです。



④ベトナム研修に参加して

情報機械システム工学科3年 松本 将真

私は「COIT Vietnam Kosen Robocon 2025 - Rise of Bots」(COIT Robocon)及びベトナム研修に参加し、COIT Roboconにおいて、第3位の成績を収めました。9月17日から、19日かけて、COIT Robocon' 20日から24日まではCOITの学生と一緒に授業を受け、現地の文化に触れ、交流を深めました。ベトナムの方々はとてもやさしく、頑張って英語やジエスチャー、ときには日本語を使い、積極的にコミュニケーションをとっていました。途中には、思いがけないハプニングがあつたりと息をつく暇のない研修でしたが、これが海外なんだと身にしみて感じ、この経験を次の機会に最大限に活かして将来につなげようと考えました。



教員の活躍

情報機械システム工学科 準教授

酒井 智香子

昨年4月に念願であった高専教員になり、そして、今年2025年4月に念願であった自身の研究室を持つことができました。鳥羽商船に赴任するまでは主に超伝導体の物性の研究を行ってきました。電気伝導度測定による超伝導転移温度の計測 (C. Sakai *et al.*, Rev. Sci. Instrum. 84 (2013) 075103)、大型放射光施設 SPring-8 を利用した結晶構造の解析などです。

高専でも伝導度計測に関する研究を続け、学生2名が国際会議 KRIS2025 でポスター発表を行いました（研究室立ち上げから5か月後の快挙です）。また、これまでの研究と三重県の特産物を結び付けた研究はないかと考え、「三重県特産物（伊勢茶や日本酒の“作”など）への真珠パウダーを混合したときの導電率への影響」を調べる実験を思いつきました。この研究もう頼もしい仲間を得て、今後の研究が飛躍的に進むことを期待しています。



鳥羽のある日の風景

卒業式及び修了式の挙行について

令和7年3月19日（水）に令和6年度第2回情報機械システム工学科卒業証書授与式並びに第19回専攻科（生産システム工学専攻）修了証書授与式を、令和7年9月19日（金）に第54回商船学科卒業証書授与式並びに第18回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙行いたしました。

卒業生・修了生は鳥羽商船高専での思い出を胸に、晴れやかな姿で本校を巣立っていきました。



情報機械システム工学科卒業式の様子



商船学科卒業式での登壇礼（とうじょうれい）の様子

公開講座一覧表

公開講座一覧 サイテクランド in 鳥羽商船高専 2025

講座名	
1	好きな色に光るLEDランプを作ろう♪
2	マイコンプログラミングで課題解決【micro:bit】
3	マイコンプログラミング講座【IchigoDyhook初級】
4	マイコンプログラミング講座【IchigoDyhook中級】
5	水中探索艇を操縦してみよう～海洋探検しませんか～
6	鳥羽丸体験乗船 -操船や機関操作を体験しよう-
7	鳥羽丸船内見学
8	水中探索艇の操縦体験講座～海底探査への挑戦～
9	高専入試問題解説会（数理英）
10	挑戦者求ム！秘密のメッセージを読み解こう
11	船とレーザー加工機と星で遊ぼう
12	星空観望会
13	機械学習・AI講座

来年も公開講座を企画予定ですので、ご興味のある方は是非ご参加ください！

R7.1～R7.12に締結した協定一覧

- 鳥羽商船高等専門学校とベトナム COIT (College of Industry and Trade)との協定
(締結日：令和7年2月8日)
- 鳥羽商船高等専門学校とタイ KOSEN-KMITLとの協定
(締結日：令和7年3月31日)
- 鳥羽商船高等専門学校と旭タンカー株式会社との包括連携に関する協定
(締結日：令和7年7月25日)
- 海技教育機構（JMETS）と商船系高等専門学校との協定
(締結日：令和7年9月30日)
- 鳥羽商船高等専門学校とスコットランドグラスゴー市立大学（City of Glasgow College）との協定
(締結日：令和7年12月3日)



編集後記



学校だよりVol.97を発行するにあたり、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。前号発行以降、本校では本号で紹介している通り、3月に練習船鳥羽丸(4代目)の竣工式、4月に情報機械システム工学科「高度情報工学コース」1期生入学、9月に創基150周年記念式典、と校史に残る3つの大きな出来事がありました。激動の国内外の情勢の中にあって、本校にとっては、まさに長き歴史を礎に未来に向かって新たなスタートをきる節目の1年でありました。

変わらず守り通すべきものを大切にしつつ、変えていくべきものに対応していくことを怠らず、新たな歴史を刻んでいきたいものです。(山田英生記)

学校だより Vol.97

令和7年12月発行



学校ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



X

独立行政法人国立高等専門学校機構
鳥羽商船高等専門学校 広報委員会

三重県鳥羽市池上町1番1号

TEL 0599-25-8000 <https://www.toba-cmt.ac.jp>

バックナンバーは右のQRコードまたは本校ホームページからご覧ください。



▼バックナンバー